

4 これからのまちづくりについて

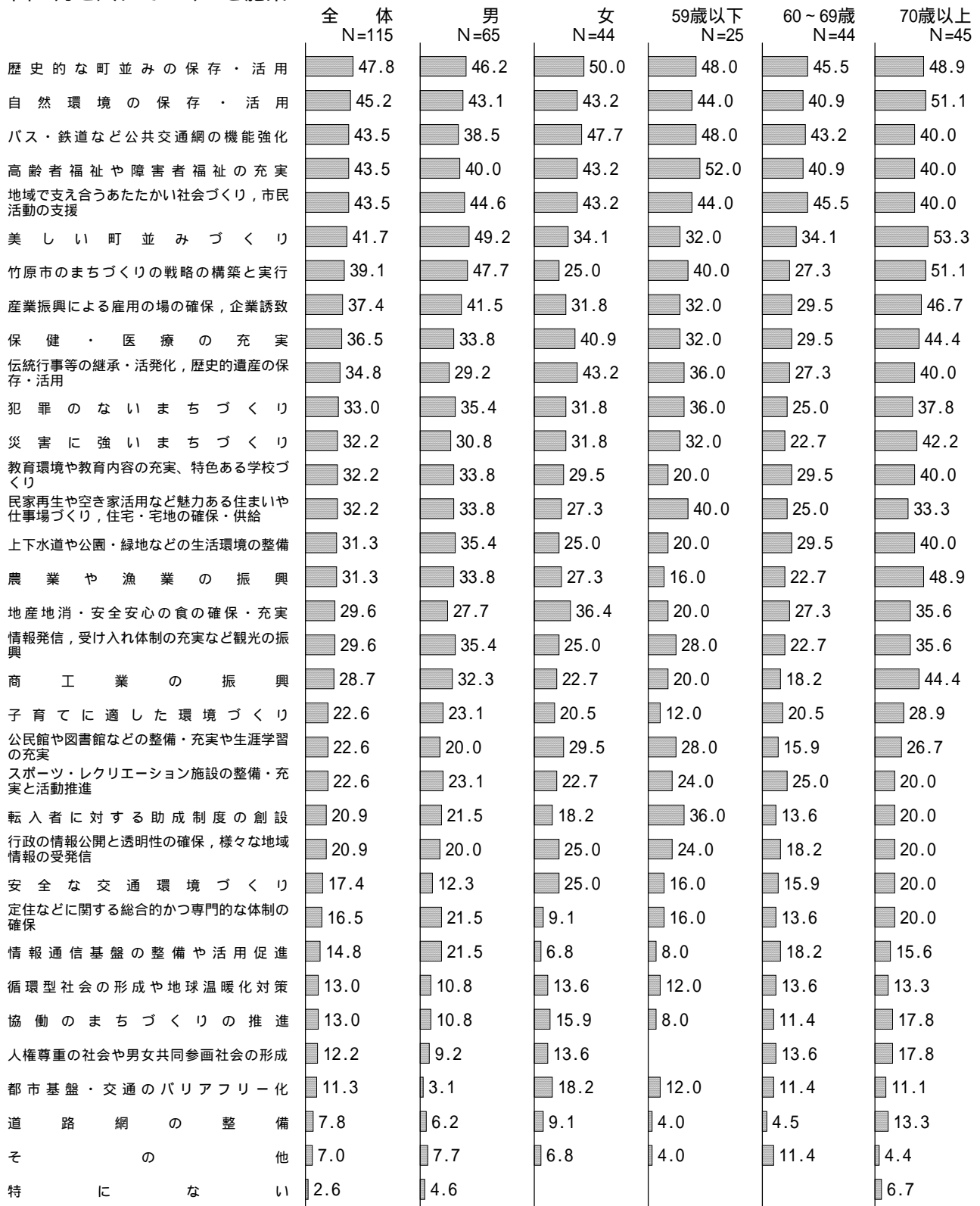
4 - 1 竹原市の重点施策

問11 あなたからみて、竹原市がより住みよいまちになるためには、特にどのような施策に力を入れていくべきだと思われますか。(あてはまるものすべてに 印)

竹原市の重点施策については、全体では“歴史的な町並みの保存・活用”が47.8%で最も多く、それと近い割合で“自然環境の保全・活用”、“公共交通網の機能強化”、“高齢者福祉や障害者福祉の充実”、“地域で支え合うあたたかい社会づくり”、“美しい町並みづくり”が40%を超えています。

それらに続いて、“竹原市のまちづくりの戦略の構築と実行”や“産業振興による雇用の場の確保、企業誘致”も40%近くを占めるなど、様々な分野の取組があげられています。

図 力を入れていくべき施策



4 - 2 Uターン等に関する重点施策

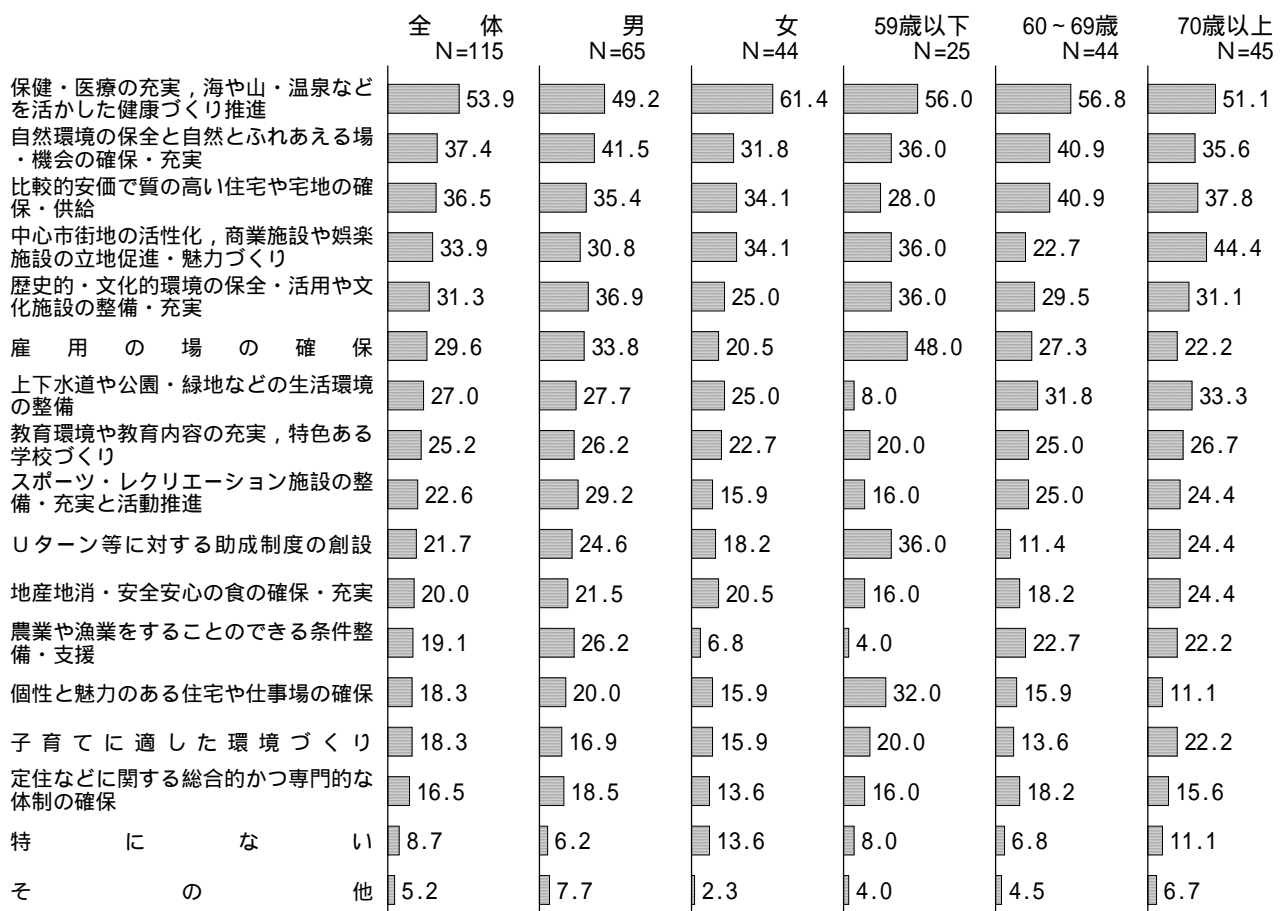
問12 あなたが、(仮に)竹原市に帰って住まわれたり、竹原市と他の都市・地域と行き来する暮らし方をしたりするとしたら、竹原市として特にどのようなことをすればよいと思われ
ますか。(あてはまるものすべてに 印)

Uターン等に関する重点施策としては、全体では“保健・医療の充実、海や山・温泉などを活かした健康づくりの推進”が53.9%でもっとも多くなっています。次いで“自然環境の保全と自然とふれあえる場・機会の確保・充実”が37.4%，“比較的安価で質の高い住宅や宅地の確保・供給”36.5%，“中心市街地の活性化、商業施設や娯楽施設の立地促進・魅力づくり”が33.9%，“歴史的・文化的環境の保全・活用や文化施設の整備・充実”が31.3%と、30%を超えて上位となっています。

性別、年齢階層別でも、“保健・医療の充実、海や山・温泉などを活かした健康づくりの推進”がもっとも多くなっています。

その中で、Uターン等の希望が相対的に高かった「59歳以下」では、“雇用の場の確保”が48.0%，“Uターン等に対する助成制度の創設”が36.0%と、より直接的な定住対策への要望が上位にあがっています。

図 Uターン等に関する重点施策



4 - 3 希望する将来の竹原市の特色

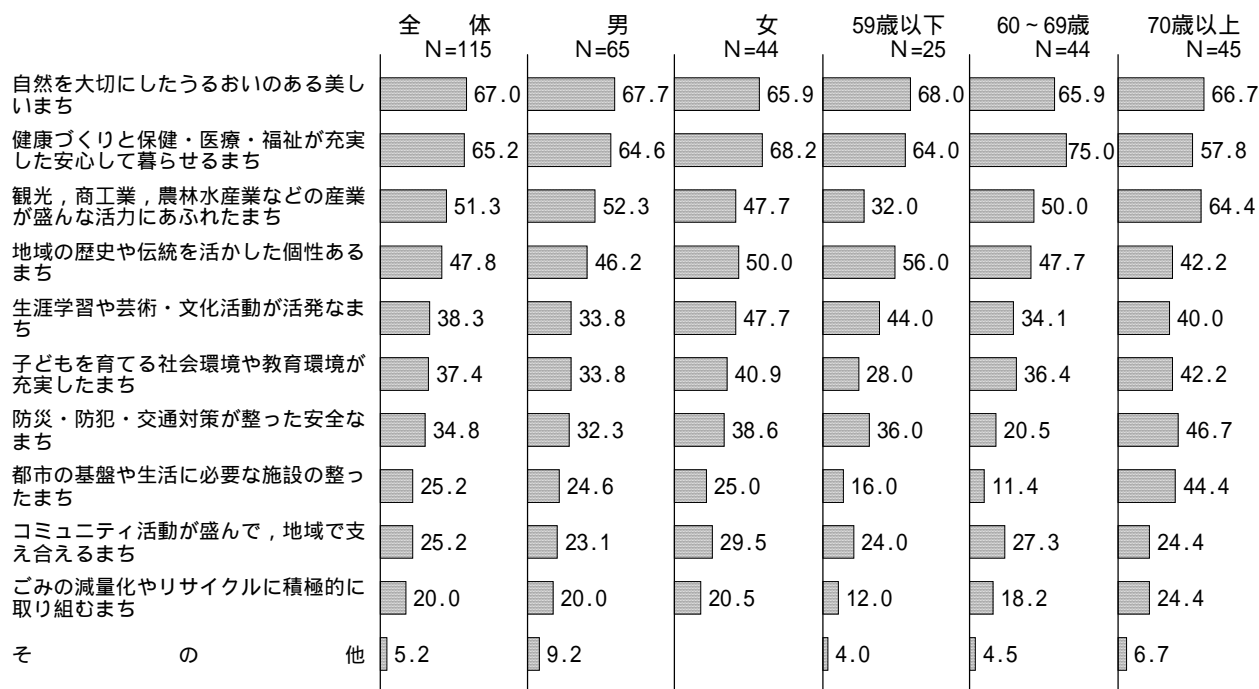
問13 あなたは、将来、竹原市がどんな特色のあるまちになることを望まれますか。
(あてはまるものすべてに 印)

希望する将来の竹原市の特色としては、全体では“自然を大切にしたいうるおいのある美しいまち”が67.0%で最も多く、それとほぼ同じ値で“健康づくりと保健・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまち”が65.2%となっています。これらに次いで、“観光、商工業、農水産業などの産業が盛んな活力にあふれたまち”が51.3%、“地域の歴史や伝統を活かした個性あるまち”が47.8%と、50%前後を占めています。

“健康づくりと保健・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまち”は、女性及び「60～69歳」で1番目にあがっています。

これを市民アンケート調査と比較すると、市民アンケート調査では“自然を大切にしたいうるおいのある美しいまち”は5番目にあがり、本(出身者)アンケート調査で上位5番目までに上がっていなかった“都市の基盤や生活に必要な施設の整ったまち”が2番目に、“防犯・防災・交通対策が整った安全なまち”が4番目になっています。

図 希望する将来の竹原市の特色



<市民アンケート調査(全体)>

- 1番: 健康づくりと保健・医療・福祉が充実したまち.....54.1%
- 2番: 都市の基盤や生活に必要な施設の整ったまち.....25.5%
- 3番: 観光・商工業・農林水産業などの産業が盛んな活力にあふれたまち.....24.9%
- 4番: 防犯・防災・交通対策が整った安全なまち.....23.1%
- 5番: 自然を大切にしたいうるおいのある美しいまち.....21.8%

太字は、本(出身者)アンケート調査で上位5番目までに上がっている項目